

平成30年度 事業計画書

1 事業の方針

(1) 活動の基本

ウエーブは、会員相互の助けあいの精神に基づいて、障がいを持っていても、高齢になっても、住み慣れた地域で、尊厳をもって安心して生活ができるよう地域の助け合い活動を進めます。

地域総合支援事業は、子育てから障害者、高齢者支援まで、全ての地域住民が、サービスから排除される事のない、安全にそして安心して生活ができるように、行政と協働して進めていきます。

私たちは、多職種事業所と連携して、特に日光コミュニティケア研究会研修に参加し、地域の福祉サービスの向上に努めます。

これからますます高齢化が進む日光市全地域において、「困ったときはお互いさま」の助け合う活動が重要性を増していく事と思います。

(2) 事業実施の方針

* ふれあい事業は、公的サービスではできないことを、枠外サービスで支援します。

居場所「ほっとウエーブ」は、毎週火、水、木、開催します。年齢に関係なく誰でも気軽に利用できます。

また、毎月第2月曜日(午前10～12時)は、にっこう認知症・若年性認知症の家族の会の相談日として、場所を貸します。

車椅子使用の障害者、高齢者が、拝観のため日光二社一寺に来る時、事前に相談依頼があるときは、日常業務に支障のない場合はボランティアで支援します。また、温泉等への入浴についても支援します。

* 訪問介護事業は、ご利用者の生活を尊重し、寄り添った支援を行います。特に、訪問介護は、訪問介護員の技術を常に向上させるよう、定期的に研修会を開催し全員が取り組みます。

県市他団体等の研修会に積極的に参加していきます。

* 通所介護事業は、ご利用者一人一人の個性を大切に、心身の健康が保たれ、楽しく豊かな時間を過ごしていただきます。

ボランティア団体と連携、協力しあって、地域との交流を深めていきます。

* 居宅介護支援事業は、ご利用者が、要介護度の重い軽いに関係なく、本人の希望を尊重して、他事業所と連携しながら希望に沿った介護計画を作成していきます。

* 障害福祉サービス事業は、障害者総合支援法にそってご利用者が、安心安全に在宅生活が送れますよう障害者相談員と連携して支援していきます。

* 市の委託事業は、市の担当者と常に情報を連絡しあい、ご利用者が安心して生活が維持していけるよう支援していきます。

* 介護に携わる会員の知識・技能と、サービスの質を向上させるため、研修を重ねていきます。

* 県内外で実施される福祉に関する研修会は、積極的に参加します。

(3) 他団体との交流その他の活動

* 市内のNPOと連携し、新地域総合支援事業が、市民のための良いサービスとなるために、地域の話し合いや研修会等に参加します。

* 県市内外のNPO法人、ボランティア団体との交流と情報交換を行います。

* 認定NPO法人として、地域に根ざした貢献活動を進めてまいります。

* 毎月のイオン黄色いレシートキャンペーン運動を積極的に進めます。

* ボランティア市民活動フェスタ2018に参加します。

* フードバンク日光と連携し、生活困窮者の支援をしていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額 (千円)
1家事援助及び介護等の事業	① ふれあい事業 会員同志が助けあう相互扶助の精神に基づき、活動会員が利用会員の家事援助や介護等を行う。	H30.4～ H31.3	市 内 その他	25 名	市 内 その他 延 300 名 2900 時間	7,961
	② 日光市生活支援ホームヘルプ事業 ひとり暮らしの高齢者の家事援助、及び入院したとき、身の回りの世話をする事業。日光市委託事業を行う。	H30.4～ H31.3	市 内	10 名	市 内 延 100 名 450 時間	1,000
	③ 日光市高齢者住宅生活援助員派遣事業 シルバーハウジングの入居者の安否確認や日常の生活援助を行う事業。日光市委託事業を行う。	H30.4～ H31.3	市営豊田住宅 市営倉ヶ崎住宅	8 名	シルバーハウジング 入居者 豊田住宅 11 世帯 14 名 倉ヶ崎住宅 17 世帯 20 名	5,350
	④ 日光市移動支援 身体障がい者の外出介助の支援活動を行う	H30.4～ H31.3	市 内	10 名	市 内 延 45 名 1,000 時間	2,620
	⑤ 認知症カフェ事業 日光市委託事業	H30.4～ H31.3	市内	4 名	350 名	180
	⑥ 地域貢献活動 ・居場所「ほっとウエーブ」 高齢者・障がい者の日光観光を支援する。	H30.4～ H31.3	市 内	15 名	延 650 名 550 時間	1,000
2産前産後等の支援と子供の世話	重度障害児の通学等への送迎介助支援	H30.4～ H31.3	市内～ 宇都宮	2 名	12 名 350 時間	0
3介護保険事業	① 訪問介護 介護保険法に基づくホームヘルプの活動を行う。	H30.4～ H31.3	市 内	25 名	市 内 延 600 名 5,700 時間	17,335
	② 通所介護 介護保険法に基づくデイサービスの活動を行う。主な行事 ・桜の花見ドライブ ・つつじのお花見・ ・紫陽花見学 ・七夕祭り	H30.4～ H31.3 4 月 5 月 6 月 7 月	ウエーブ デイサービス センター	12 名	市 内 定員 15 名 309 日 延 2,600 名	28,200

	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り ・紅葉狩りドライブ ・りんご狩り ・室内での創作活動 ・クリスマス会家族会 ・新年会 ・節分祭 ・ひな祭会・ ・誕生会・外出・手作業・体操・歌・カレンダー作り ・運営推進会議 <p>③ 居宅介護支援 介護保険法に基づく ケアマネジメントの 活動を行う。</p>	8 月 9 月 10 月 11 月 12 月 1 月 2 月 3 月 随 時 年2回 H30.4～ H31.3	市 内	3 名	市 内 延 1,000 名	9,285
4障がい福祉サ-ビス事業	・障害者総合支援法に基づき、身体障がい者の居宅介護・同行援護の活動を行う。	H30.4～ H31.3	市 内	17 名	市 内 延 400 名 3,800 時間	12,555
5福祉政策に対する提言活動	福祉政策のあり方や気づいたことを市等に提言する。	随 時	市 内			0
6福祉知識の普及	毎月のヘルパー研修 ・体力アップハイキングの楽しみ方 ・介護予防取り組みについて ・体力アップハイキング ・ヘルパーの心得 ・暑気払い交流会 ・活動カード記入の仕方 ・ケース検討について ・交通安全について ・一品持寄り調理研修 ・腰痛予防について ・機関紙“ゆめ夢通信”により普及に努める。	H30 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 H31. 2月 3月 年4回 発行				160
7介護技術の修得	・知識・技能を向上させるため、各種研修会等に参加する。 ・介護技術アップ研修 ・身体介護技術研修 ・機能訓練指導者研修 ・難病研修 ・認知症を理解する ・介護員中堅者研修 ・日光市介護サ-ビス事業者連絡協議会・研修会 ・日光地区ケアマネジャー	H30.4～ H31.3				610

	連絡協議会・研修会 ・日光コミュニティ研究会 研修					
8 他団体との交流 事業	・各 NPO 団体の行事に 参加 ・地域コミュニティケア研 究会 ・地元自治会行事参加 ・とちぎ地域福祉ネット 連絡会・研修会 ・日光市民活動団体交 流会 ・日光小規模福祉会 ・にっこう認知症・若年性 認知症の家族の会参加	随 時				70
9 会員等の親睦事 業	・ふれあいコンサート ・新年交流会 ・障がい者交流会	H30.5 H31.1	市 内 市 内 市 内			175
10 その他目的を達 成するために必 要な事業	・理事会の開催 ・ゆめ夢通信の発行 ・認定NPO法人継続活動 ・フードバンク日光定例会 ・訪問介護員研修会・ミ ーティング ・デイサービス担当ミー ティング・研修会 ・各担当者合同打合せ ・イオン黄色いレシート キャンペーン参加 ・にっこう福祉のまちづく り推進委員会	年 4 回 年 4 回	デイサービス 事務所			532

(3)その他

- ・福祉有償運送運転者講習会 参加
- ・ボランティアフェスタ2018 実行委員派遣
- ・にっこう認知症・若年性認知症の家族の会監事派遣
- ・にっこう福祉のまちづくり推進委員派遣